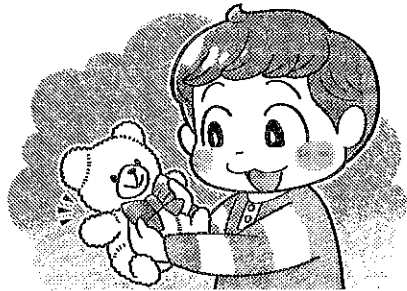


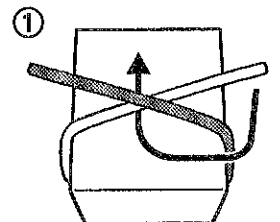
身につけたい 生活の中での体の動き



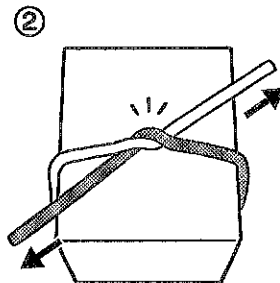
子どもは、まわりのおとなや友だちとかかわりながら、遊びや運動、手遊びなどを通して、体の動かし方や指先の使い方を身につけていきます。こうした体の動きは、小学校に入ってから生活の土台になります。

ちょうむすびを しよう

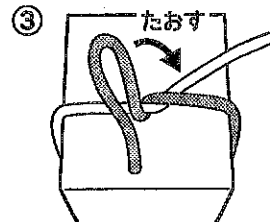
エプロンのひもや靴ひもなど、よく使う結び方なので、身につけさせましょう。



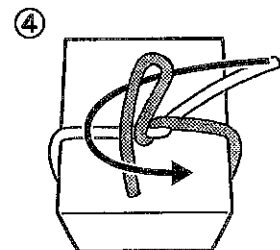
① ひもを「X」にして
しろい ひもを したに
いれる



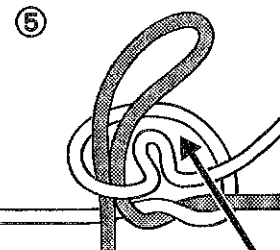
② ななめに ひっぱる



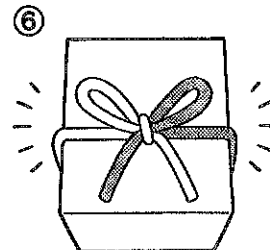
③ くりい ひもを
わに して
ひだりの てで もつ



④ くりい ひもの わに
しろい ひもを かける



⑤ しろい ひもを おやゆびで
あなに いれます

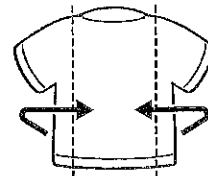


⑥ ふたつの わを
ひいて できあがり!

ふくを たたもう

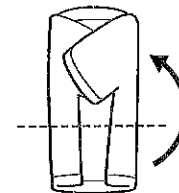
小学校では、体育の時間に服をたたむので、入学前に身につけさせておくと安心です。

① ティーシャツ



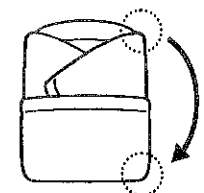
うしろがわに して -----の
ところを たたむよ

②



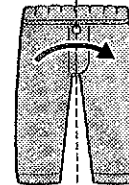
したから -----の
ところを たたむよ

③



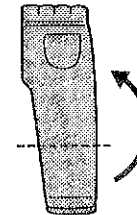
うえから かどを
あわせて たたむよ

① ながズボン



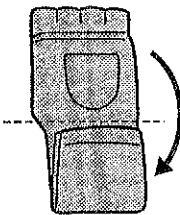
-----の ところを
たたむよ

②



したから -----の
ところを たたむよ

③



うえから -----の
ところを たたむよ

指先の動きを育てる遊び

筆記用具を使ったり、はさみで切ったりする作業には、指先をしっかり使う力がが必要です。そのためには、体の姿勢を安定させることも大切です。さまざまな遊びの中で、それらを身につけさせましょう。

新聞紙を丸める

握る・両手の
操作を養う



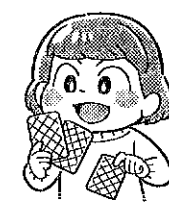
折り紙

つまむ力をつける



カード遊び

指先の力を養う



指すもう

親指・手首の
力を養う

